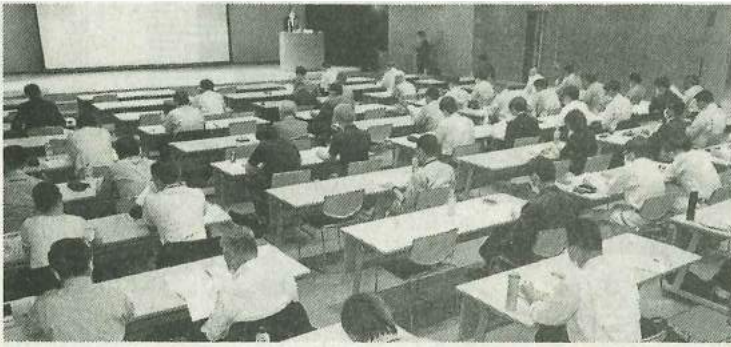


座学や現場見学で資質向上

22年度

福井県コンクリート診断士会が総会

山川会長 3期目再任



新入会員紹介



山川 博樹 会長

福井県コンクリート診断士会（山川博樹会長）の2022年度定期総会は13日開かれ、21年度の事業報告・収支決算、および22年度の事業計画・収支予算案を原案通り審議了承した。会場は、福井市宝永3丁目の県国際

交流会館で写真。任期満了に伴う役員改選においては、山川会長（50）を3期目再任。会長は、コンクリート構造物診断のスペシャリスト集団として、技術力を発揮し、社会全体の安全性に貢献する基本姿勢を改めて強調。全国25地区のコンクリート診断士会のうち、福井が東京を会員数で上回り、全国トップになったことも報告。人

22・23年度期の役員（敬称略）

- 会長 山川博樹 M・T技研
- 副会長 江波清隆 リバークル
- 柴原幸 帝国コンサルタント
- 幹事
 - 石川裕夏 福井宇部生コンクリート
 - 白井裕喜 福井県建設技術公社
 - 鳴瀬敬祐 M・T技研
 - 多田浩二 エルディ
 - 谷口晴紀 ベルテクス
 - 寺口秀明 日本ピーエス
 - 板東慎一 嶺南デンカ生コン
 - 安本倫章 中央測量設計
 - 山口訓久 道端組
 - 山田祥太郎 AC構造検査
- 監査役
 - 杉村佳昭 安田建設
 - 出口一也 県三国土木事務所
- 事務局
 - 吉川昌和 福井宇部生コンクリート

口10人当たり約登録者数は16年連続で全国首位も紹介した。21年度は、研修会を第118回から第124回まで、計7回開催した。座学と現場見学を通して、知識習得に努め、資質向上を図った。県道路メンテナンス会議主催の研修会に協力し、地域鉄道会社にも協力支援した。

22年度も研修会を8回程度開催する。地域密着型の貢献活動としては、地元自治体への技術支援や、学会会員との協働も計画。県建設技術公社主催のセミナーに対して講師派遣。コンクリート診断士に対する信頼をさらに高め、社会的地位の一層の向上に努める方針としている。